

企業主導型保育のこれから 指定討論:保育の質の視点から

秋田喜代美
(東京大学教育学研究科)

本シンポジウム話題提供の意味

＜国＞制度設計設置目的から、メリット・期待は語られる。

＜設置者＞認可施設並みの整備・運営費

＜報道＞ 問題事例が大きく報道される。



私どもの問い: ラベルだけの独り歩きによって、誤解が生まれやすいのではないか。

内なる人々からの声を国でも団体や報道でもない第三者が明らかにすることで、あらゆる子ども達や保育者がよりよい質の保育をうけるための検討が必要ではないか、

制度ができて3年

- 制度設計上本質的に含む課題
 - 自治体との関係の薄さ、企業枠と地域枠区分
 - 待機児童対策で少子化後が見えない
 - 認可外から認可へのインセンティブはない
- 制度設計上、保育の質に関する課題
 - 働く保護者目線のサービス提供の発想
 - 保育士資格半数以上（子育て支援員の研修）、
 - 環境面での基準の課題
- 制度設置され3年と言う新設園だからこそその課題
 - 認知度の低さ、園文化が未熟成（寄合所帯）

明らかにになった肯定ポイント

- 8割以上が平成30年度に園内研修を実施しており、そのうち、一年間に7回以上実施している園が4割以上であった。
- 企業主導型保育施設を利用している保護者は、利便性や施設の綺麗さを評価している

肯定ポイント2

- 保護者の保育内容評価が高かった施設では、園内研修の実施頻度や、園外研修への参加頻度が高い
- 保育所選択では、保育料や施設への通いやすさが重視。ただし、子どもが保育を受ける環境（保育士の対応や安全・衛生など）も重視されている

課題ポイント1

- 企業主導型保育事業の認知度は、通わせられる子どものいる一般の保護者ではこの制度の存在を知らない人が4割近く、知っていても名前を聞いたことがある程度の人が5割近く、合計9割程度がよく知らなかった。
- 保護者は、利便性や施設の綺麗さに比べ保育内容の評価は相対的に低い。

課題ポイント2

- 園内外研修実施参加の難しさとしての時間の確保と人手不足を挙げている。
- ㊦ 企業主導型保育施設では、9割近くが第三者評価を受審したことがなく、また6割程度が自社から受審を特に求められていなかった

淀川さんのご発表をうかがって： 園内外の研修と評価ナレッジマネジメント

新設園なら
ではの知識
スキル

研修を通した
ビジョンや価
値の共有

日々の子どもや
活動を振り返り
仕組み作り

保護者、地
域と園との
連携の在り
方

評価の視点
自己評価、相互
評価、ネットワ
ーク形成

佐々木さんの発表をうかがい 園間・家庭との協働連携へ

- 自分の働き方にあった時間帯で利用できる利便性が評価されている。

保護者へのメリット VS

保育士不足での保育者の働き方や園経営

- ・ 3歳以降の連携施設や3歳以降の保育のあり方の検討が必要

- ・ 研修の重要性:研修内容とそのため体制を他施設制度との関係の中で検討していく

- ・ 保護者に保育が見えていない

保育者が保護者の関与を促す実践

OECD TALIS,2019.10.25 発表 TableD2.2

項目	保護者が容易に 保育者に接触で きる	子供の発達や学び に関し定期的に情 報を受け取っている	日々の活動に関す る情報を定期的に 受け取っている
チリ	95.2(0.6(	96.0(0.5)	89.8(1.0)
ドイツ	97.7(0.6)	94.0(0.7)	80.5(1.6)
アイスランド	97.5(0.5)	89.1(1.1)	86.3(1.0)
イスラエル	91.5(0.8)	90.4(0.9)	76.1(1.4)
日本	75.9(1.8)	83.1(1.4)	85.8(1.3)
韓国	92.1(0.9)	84.9(1.4)	82.7(1.4))
ノルウェー	96.6(0.7)	91.0(1.6))	91.5(1.2)
トルコ	96.4(1.0)	95.7(0.9))	88.9(1.1)
デンマーク	99.4(0.3)	94.7(1.1)	97.2(0.8)

深井さんのご発表をうかがって

- 園選びのための認知率5割をいかに挙げていくのか。その時に企業主導型か認証、認可化と言うことと同時にその園の良さや内容をいかに地域の人につたえていくのか。
- 伝えるメディア、伝える内容をいかに精選していくか。企業枠と地域枠
- 保育士の対応や安全・衛生などをいかに見えるかし保護者に伝えるのか。理解の共有

CEDEPとしての今後の さらなる調査や分析にむけて

- 設置形態別（単独,共同、保育事業者設置）の相違の検討
- 規模別（20人未満、それ以上）、
- 対象年齢別（0－2歳、3－5歳）の分析の必要性
- 質的な声の分析や具体的な工夫事例の形態等別紹介が必要
- 企業主導型保育固有の研修内容の同定や
質向上の体制作りが必要 アドバイザー